PL: abalf
CG Male Human
Ranger1/Barbarian1/Cleric (Kord)4/Fighter2/Holy Liberator10

どこぞの蛮族の村出身で、都会にいるらしいとても強くて偉い「ぱらでぃん」とかいう人たちに憧れて Caldron に上京してきた。ぱらでぃんになるためにあちこちの神殿を回るも、当然 Alignment が CG なために相手にされず、自己流で悪いやつを倒したりしているうちに Holy Liberator になった。

Paladin の事をよく知らず勘違いしているため、本人は立派なぱらでぃんになったと言い張っていた。あだ名は「偽パラディン」「自称パラディン」など。
Kord の信徒でもあったが、筋トレばかりやっている Kord 神殿にはあまり立ち寄らず、主に Boccob 神殿である Surbane の家で寝泊まりしていた。おかげで Kord 神殿の評価は下がる一方。
普段は Dragonhide Breastplate を着て Club を握り、Companion の虹色の牛 (Celestial Bull) にまたがっていた。

Holy Anger の一応リーダーで、市民受けはパーティー中で最も良かったものの、パーティー内での立場はお笑い役。「これだから蛮族出身は」「さすが INT7」など言われ放題。

戦闘では高い Save (+27/+14/+17) と HD の出目による HP の高さで、主に壁役として敵の攻撃に耐えた。最後の方では Holy Discharger という、準備に Standard Action が必要で 1 が出ると非準備状態になる武器を手に入れ、敵の前で武器の準備しかしないこともしばしば。ちなみにラスボスを殴り倒したときに持っていた武器は Nonmagic の木刀 (Attack-1,Damage-2)。

キャンペーン終了後は Listy を守るために Abyss の 507 層に留まり、Demon Prince からの刺客と戦っていた、らしい？

迷場面、活躍シーンなど

・地割れに落ちた市民を助けに行くも、牛がつっかえる
・新市長に立候補するも破れる
・だいたい敵に対して「うるさい、お前が悪いやつだな！死ね !!」
・Erinyes の武器を残らず Sunder
・Beholder の Finger of Death, Disintegrate, Fresh to Stone を食らって「(ころころころ) 全部 1 じゃありません」x4Round ぐらい